

# アウディ社、有機ELテールランプに交通安全シンボルを表示

マーク・ハルパー

ドイツの自動車メーカーであるアウディ社は現在、5車種でOLEDワークス社の技術を採用している。新型電気SUV「Q6」は、OLEDワークス社の第2世代の技術を採用する初めての車種である。

有機EL (OLED) 照明パネルメーカーの米OLEDワークス社 (OLEDWorks) は、独アウディ社 (Audi) における存在感を静かに強化している。アウディ社は現在、OLEDワークス社の技術に基づくテールランプを5車種に搭載している。そのうちの1車種には初めて、後続車のドライバーに具体的な危険性を伝達するシンボルが組み込まれている。

2024年3月に発表されたアウディ社の電気SUV「Q6 e-tron」には、OLEDワークス社の第2世代のリアライトが採用されている。このリアライトには、

アウディ社の広報担当者が本誌に対して「インテリジェントディスプレイ」と表現したものが搭載されている。

OLEDワークス社は、この機能について数年前から語っており、2022年1月にはラスベガスで開催された消費者向け電子機器の見本市であるCESでこれを披露している。

それ以来、アウディ社はOLEDワークス社のテールランプを複数の車種に採用してきたが、追加の交通安全機能が組み込まれたのは、3月に発表されたQ6 e-tronが初めてである。

「Audi Q6 e-tronには、第2世代のデジタルOLED技術が搭載されている」と、アウディ社の広報担当者は本誌に語った。「第2世代のデジタルOLEDテールランプによってAudi Q6 e-tronは、ランプデザイン、機能範囲、道路安全性を新たなレベルに引き上げている」(広報担当者)。

Q6 e-tronの照明機能の一部を説明するプレスリリースの中でアウディ社は、「コミュニケーションライトは、危険な運転または交通状況において、デジタルOLEDコンビネーションリアライトに組み込まれている警告シンボルを、通常のリアライトグラフィックに並べて表示する、特定のスタティックなリアライトシグネチャを表示する」と記している。

OLEDワークス社はかつて、積雪、凍結、交通渋滞、近接度などの状態を警告するアイコンを含めるつもりだと語っていた。そのうちのどれだけをアウディ社がQ6 e-tronに搭載したのかは不明だ。近接度は、第1世代の一部の車種に搭載されていた。

「第2世代のデジタルOLEDリアライトは、コミュニケーションライトを作動して、エマージェンシーアシスト (Emergency Assist) 用、RECCAS (追突警報信号) 用、ハザードランプ点滅時、緊急通報 (eCall) 時、ロードサイドアシスタンスコール (bCall) 時、非



図1 アウディ社の「Q6 e-tron」に搭載されている有機ELテールランプには、交通安全シンボルが表示される(写真提供:アウディ社)



図2 アウディ社は、高級SUV「Q8」に「デジタルシグネチャ」として機能する幾何学パターンを含めている(写真提供:アウディ社)

常停止灯点滅時の警告シンボルを表示する」と、アウディ社はQ6 e-tronのプレスリリースの中で述べている。

Q6 e-tronは、OLEDワークス社の「Atala」ブランドの車載OLEDテールランプをアウディ社が採用した、最新車種である。

OLEDワークス社は2024年4月に、アウディ社が2023年10月に発表した高級SUV「Q8」に第1世代のAtalaが採用されていることを発表した。第1世代と、(Q6 e-tronに採用されている)新しい第2世代の両方で、複数の異なる幾何学パターン(いわゆる「デジタルシグネチャ」)が提供されており、車両の所有者が選択してテールランプをパーソナライズできるようになっている。第1世代には近接表示機能もあり、停止車両の2メートル(6.6フィート)以内に近づいてきた後続車に警告を発する。

Q8とQ6により、OLEDワークス社

のAtala技術を採用するアウディ車は5車種になった。OLEDワークス社はこれまでに、高級SUV「Q5」と高級セダン「A8」を搭載車両として発表している。アウディ社の広報担当者によると、もう1車種はSUV「Q7」だという。

アウディ社とOLEDワークス社は、2019年に協業を開始した。

それ以来、ゆっくりとはあるが着実に成果を積み重ね、アウディ社がOLEDテールランプをQ5のオプションとして提供し始めたのは、4年足らず前のことである。同社はその後、2021年11月の高級セダンA8において、OLEDランプをオプションではなく標準装備とした。しかし、OLEDワークス社がサプライヤーであることを両社が認めたのは、2022年4月のことだった。

#### 著者紹介

マーク・ハルパー(MARK HALPER)は、LEDs Magazine誌の寄稿編集者で、エネルギー/テクノロジー/ビジネス関連のジャーナリスト。e-mail: markhalper@aol.com

アウディ社はこの技術を、高価格帯の車両に組み込んでいる。例えばQ8は、国によって仕様が異なり、米国では8万1800ドル、英国では9万6965ポンド、ドイツでは11万3900ユーロで販売されている。

アウディ社の広報担当者は、同社がアジアの別のサプライヤーを今でも利用しているかどうかについて明言を避けた。また、OLEDテールランプ技術をその他のサービスに利用することを希望する顧客に対し、サービス料を課すことを深く検討しているかどうかについても、詳しくは説明しなかった。

OLEDは、電流に反応して発光する材料でできた薄い層(面光源)であるため、設計上の利点がある。これに対してLEDは点光源である。